

城山公園整備計画策定委員会 会議概要

1 委員会名	第8回 城山公園整備計画策定委員会
2 日 時	平成23年12月15日(木) 13:30~16:30
3 会 場	市役所4階 第1委員会室
4 出席者	上原委員、田村委員、千坂委員、堀内委員、池川委員 奥野委員、渡辺委員、岸田委員、越沼委員 (欠席 長瀬委員、小林委員、畑山委員、月岡委員)
5 市側出席者	(事務局)建設水道部長、まちづくり課長、 まちづくり課まち並整備係長、まち並整備係4名
6 その他出席者	長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 寺内指導主事(オブザーバー)、城山公園整備計画庁内検討委員2名 (株)KRC(整備計画策定業務コンサルタント業者)2名
7 報道関係者	1社
8 会議概要作成年月日	平成24年1月10日

協 議 事 項 等

1. 開 会 (進行 建設水道部長)

本日、長瀬委員、小林委員、畑山委員、月岡委員は所用により欠席。

2. 委員長あいさつ

(委員長)

本日は、前回の討議の内容を確認し、更に詰めなければいけない部分を議論いただきたい。

3. 経過報告

(事務局)

経過報告説明

11/8 前回委員会(城山公園で現地確認実施)

11/14 県文化財担当者と歴史建造物の建設に関わる協議

12/9 葵神社懇談会開催

4. 議 事(進行 委員長)

(1) 前回の議事の確認

(事務局)

別添資料「前回会議の議事確認について」説明

(2) 資料説明(資料15、資料16、資料17)

(株KRC)

別添資料 15, 16, 17 を説明

(3) 討 議

・整備基本計画の中間整理について(資料 15, 16)

(委員長)

資料 16 検討事項 1 「車両を二ノ丸まで上げる動線と帯曲輪切岸の整備の検討」から議論したい。

(委員)

質問だが、現在の本丸・二ノ丸に登る道を廃止し、帯曲輪の東南側をぐるっと回って本丸の際の上へ道を開けるという考え方でいいか。

(事務局)

現在の遊具のある広場の東側から直線で本丸方面へ登っていく道を廃止し、石碑のある場所から迂回するような形。なお、迂回の動線にある石碑を移転することが前提である。

(委員長)

将来的に県の史跡指定区域を広げていく際に支障あるか。

(寺内指導主事)

動線の仕方だと思う。現在の切岸を削ってしまうのはよくないが、盛土により管理道路を目立たないように工夫ができればよい。管理車両ということで入れざるを得ないので絶対にだめということはないと思う。

(委員長)

いずれにしても管理車両はどこからか上げなければならない。

管理道路の道幅はどれくらいか。

(事務局)

管理車両の道路は 2 . 5 m くらいが必要。

(委員長)

よろしいか。こういう方向で行くということで。

それでは、検討事項 2 「復元を目指す遺構の確認」を議論いただきたい。

(委員)

本丸の西側あたりの石垣復元に向けての市において発掘調査を計画しているか。

(委員長)

この計画において石垣を復元すると決めればその方向になると思うが。

(事務局)

できることであれば、この三カ年の短期の中で調査できればいいと思う。なお、整備は当然中期以降ということで、報告書の中では調査をして、遺構など出た場合には将来の復元に向けて計画を立てるといようなまとめ方になるかと思うが、教育委員会と詰めさせていただきたい。

(委員)

現在各地に飯山城の門が点在しているが、例えば買い取られた先のお宅に古文書等があればそれを調べ、飯山城のどこの門かを特定するような調査を市で行ったか。

(庁内検討委員)

調査結果は、平成5,6年に、当時の都市計画課でまとめたものがある。

また、県の文化財保護審議委員をされている吉澤先生も一緒に研究に入ってもらい、図面作りからそれぞれ部材計測しながら、どこの門であるか聞き取りもしたりしてまとめた報告書があるが、結果分からなかった。

(委員長)

遺構調査は全て実施したのか。どのくらいの大きさなど分かるか。

(庁内検討委員)

建坪全部調査すると規模がわかるかと思うが、前に調査したのは確認調査ということで、下に遺構が残されているかどうかを確認するためである。

(委員長)

発掘調査はしてないわけか。

(庁内検討委員)

そうである。

(委員長)

それでは発掘調査をすればその現存している門が、飯山城のどこのものかというのが大体つかめるといことか。

(庁内検討委員)

地下に残されていることがわかったので可能である。

(委員長)

つまり、復元をしていく時には発掘調査が必要になり、その辺まで含めながら考えなければならぬ。かなり大掛かりになると思う。遺構の復元はかなわないということになるかもしれない。

(委員)

そこにあったということを確認し、サイン表示などで案内していくということで、どの門があったかということは後でいいと思う。

(委員)

整備と調査の両輪で進めるべきである。飯山城のアウトラインを早く整備し、遺構については例えば石を置いてここにあったと表示すればよい。予算措置、古文書等の史料が出てきたことによって復元ができればそれはそれで越したことはない。現在では限られた短期の中でいかにアウトラインを出していくかがポイントとなる。

(委員長)

復元を目指す遺構については、とりあえずサインを示しておくということによろしいか。柵の整備などはどうか。

(委員)

そういうはっきりしたものは整備したい。

(委員)

塀は、どういう塀を復元したいと考えているのか。  
これも、短期的にはというわけじゃないだろうから。

(株KRC)

塀に関しては基本的には史実に沿って、例えば、資料16の44ページの絵がある。この鳥瞰の絵が一番元になり、ここにある白壁のようなイメージのものがひとつ。その辺の過去の特徴に関しては16の24ページの一覧表であるが、例えば三ノ丸や二ノ丸のところに塀が書いてあるが、この絵図面を見る限り、白壁に板葺きが主というようなことが書いてあり今のところこのようなイメージの形が考えられる。

(委員長)

桜井戸の復元はいかがか。

(委員)

井戸については安全管理が重要。皆が立ち入るところであり、井戸は危険なので、蓋などをどけたりすることが出来ないこと前提だと思うし、そこから清水がでるとか、水がどこからか出て飲めるとかはそれはひとつの売りにもなるが、そういうことが出来ないのであれば、サイン整備か、井戸の形だけを置いて残すかしかないと思う。

また、先ほどの門を復元するなどの話が出たが、現況では、城山の門はこれだけあるが、どこの門かは特定できないので今は復元できないという話であった。

特定させるために発掘調査などが必要だが、先ほどの議論だと現時点は無理ということの後という話である。後でも復元するつもりでいるのか、全く無視していくのか曖昧である。復元するつもりであれば発掘調査も同じ方向性で行わなければならない気がするが。

(委員長)

今のところそれははっきりしていない。

要する史実に沿って復元していくためには発掘調査が必要になる。発掘調査すると大掛りな事業になっていく。(今回の整備で)そこまでかけられないという状態で、先ほど委員も言われたとおり、サイン整備で今回は収めざるを得ないのではないかとということ。ただし、将来的には復元するという意思是示す必要はあるだろう。

(委員)

存在としては継続的に残しておくということか。

(委員長)

そうなる。先ほど形があるのはやっぱり復元しましょうという話のひとつとして桜井戸はどうでしょうかということだった。

(委員)

予算さえあれば史実に沿ってどんどん整備したほうがいいが、そうすると莫大な事業になり絵に描いた餅になる。

今の桜井戸の関係についても、水は出る状況ではない。

(庁内検討委員)

桜井戸というのは飯山城がお城として成り立つときのものすごい物語がある。江戸時代の歴代城主もあの桜井戸は特別大事にしたといわれる井戸なので、どういう風に整備するかは別として、とてもこれからもPRできる遺構である。少し委員さんに考えていただければと。まわり少しきれいにするだけでも見違える。

(委員長)

あそこで物語が作れる。

( 庁内検討委員 )

市民会館の藩主の私邸があった場所と、桜井戸と、三ノ丸の今池になっているところ、その三箇所が一番水があった。

( 委員 )

これからやっていくにはそれぞれのサイン案内を立てればいいたろう。だけど少なくとも象徴として考えたときに桜井戸は桜井戸としてある程度どういう形のものにしていくのか考える必要がある。

( 委員長 )

桜井戸の件に関してどうするか。サイン整備だけでなく周りをもう少し整備するとかどういう形にするか。今回の整備計画に入れないとずっと先になる。

( 委員 )

いずれにしる、空井戸にしたって4枚の石で組むとか、つるべ落としをつけるとか、何か整備が必要。

( 委員 )

アプローチもやっぱり整備していかなくちゃいけない。

( 委員長 )

それではどのような整備にすればよいかを含めて今回整備の内容としてきちんと入れるということによいか。それ以外の塀の整備とか柵の整備などはいかがか。

( 委員 )

弓道場へのアプローチに関して、市民会館の跡など、そういうところへ冬でも雪かきがそんなに苦にならない形、城跡に見えるような柵ができないかなと思っているがいかがか。

竹の棒差すだけでは冬困るだろうし。そうかといって本格的なもの作るとなれば金もかかる。

( 委員 )

西曲輪にかけるのか。

( 委員 )

西曲輪もそうだが、弓道場の駐車場沿い。ここはお城なんだ、という形になる。

( 委員 )

その場所はお城があったときそういう塀があったか。また白壁か。

(庁内検討委員)

後期(1800年代)はもう白壁である。

(委員)

維持管理も重要。

(委員)

柵のほうが簡単か。

(委員)

柵は壊れるのではないかと。なお大変。雪の度に、また、雪消えた時、春一番に手を入れなければならない。それでも柵のほうがいいといえばそれはいいが。

(副委員長)

ふるさと館にある模型は、この江戸時代末期のこの時代に合わせた模型か。

(庁内検討委員)

そうである。

(副委員長)

そうすると、白塀は白塀、柵は柵、大体忠実になっているか。

(庁内検討委員)

ある程度忠実である。

(副委員長)

それを基にして、シュミレーションしたらいかがか。

(庁内検討委員)

ただ、塀を全て整備するとすごい閉塞感がある。例えばほんのわずかでもメインのところで作ってみれば。

(副委員長)

例えば三ノ丸方面の遠望を良くするとなれば塀があっても遠くから見える。そういうこと考えなくちゃいけないし、本当に忠実にしたって今の閉塞感では具合が悪くなってしまいうし、せっかくの千曲川の眺望や北方面が見えなくなる。その辺の兼ね合いをどうするか

という問題もある。

(委員)

北東はかける予定ないと思うが。

(庁内検討委員)

交番から上がってくるところから少し見えるくらいが良い。

(委員)

そのくらいの感じでいいだろう。だから西曲輪の塀でいいような気がする。

(委員)

予算の関係もある。出来るだけ塀は多いほうがいいと思うが、当面、メインのここだけやる。それで終わりじゃなくて、次年度以降もまた予算確保する中で逐次、重要なところへ、優先順位をつけながら少しずつ整備できたらいい。

(副委員長)

およそどのくらいやるかというのを作っておいて、塀ならどのくらいずつ、また、長期にどこまで出来るというか、そういう将来像がないと。

(委員)

本丸くらいはいいとして、二ノ丸、三ノ丸は柵のほうがいいような気がする。

(株KRC)

資料16の44ページは門と塀と櫓を完全にくる形でつなげた。そうでないとせっかくの曲輪の意味がなくなってしまうので、連続で通るようにな趣旨で若干けやきが大きいのですんなり見えるか分からないがそれがこちらの図である。

(委員長)

ここに関してどういう形でまとめたらよいか。一部分は塀を作り土塁まで伸ばす。

(委員)

今の意見をベースに、シミュレーションで一回出して検討したほうがよい。イメージが沸かない。

(事務局)

資料16の44ページについて、門や塀があるイメージ図だが、計画を立てていく中で、長期計画として将来どうあるべきかという部分と、短期的にどこまで整備できるか、予算

の問題もあるが、急ぐのはどこかということ整理しながら議論いただけたらありがたい。

(副委員長)

門や櫓が出来ないと塀を造っても意味がないというといつまでも塀ができない。

では、塀だけ出来るところだけ先に造ってそれから史料が出てきたところで櫓を造ってもいい。二通りの考え方がある。

(委員)

なぜこの場所にこの塀を造ったのかという理屈付けをしてないと説明できない。確かにこう絵のとおりになっているとお城みたいに見えるが。

(委員長)

では、その塀の問題は長期的な構想の中で実現できるような方向を作ってくということ。また、桜井戸の件に関しては短期的な計画の中であまり金をかけないで整備をするということ。

石垣の復元等に関しては復元できるところはやるということによいか。

門の復元に関しましては、長期的な事とし、二重櫓の復元については史料の収集がまず先である。二ノ丸御殿の礎石の展示はすぐ出来る。それから堀の復元、大手門と合わせての復元などはどうか。現在駐車場として借り上げてあるそのところの土地の問題等も兼ねますのでどういう方向でこれを計画の中に入れていくかということもあるし、長期の中でその堀を復元していく、大手門を復元していくということで土地の関係もありますので、土地を確保して出来るところから整備をするということによいか。

また、西館だが、一部復元というようなことも案としてでたが、その件はどのような形で入れていけばいいか、礎石がそこにあったという整備の方向か。

それでは、検討事項3「広場ごとの主要植栽種および三ノ丸広場の整備内容」について、質問をお願いします。

(委員)

植栽候補種をちょっと書いていただいたんですが切岸の斜面の中に、低木類の中で斜面上部としてレンゲツツジが入っているが、基本的にはレンゲは、例えば木を植えて30年で考えているのか、50年スパンで考えているのか、100年スパンで考えているのかということの中で、レンゲツツジの場合はせいぜいもって10年だと思う。

また、中や下部にイボタが入っている。イボタの木はただ丈夫が取柄で、面白みも何もない。やっぱりそういうものに比べてガマズミやカンボク、そういうものの方が花が咲いて実がついてよいと思う。また、法面なのでヤマコウバシはよいのではないかと思う。絞ったときに素晴らしいにおいがしたり、法面の保護にもなるし、そういうようなものをもう一回考え直して欲しい。

この樹種では、ちょっといただけないというものもある。その辺も考えていただきたい。

それから三ノ丸の平坦面について、リョウブが入っているが、リョウブは完全に焼けてしまって、いくら飯山でも無理。前に話したが寺の町としてお寺にあるような樹種を考えて欲しい。一例としてモクゲンジなどは以前より提案させていただいている。可能であればシナノキとかボダイジュとか夏咲きシャラとか、関連するようなものを平坦の方へ考えていただければありがたいかなと思う。

(株KRC)

ご意見いただいて再考したいと思うが、高木は出来るだけ斜面は避けたいなと思っている。

(委員)

今のヤマコウバシも全然大きくならない。他の木もそうである。だから切岸の斜面に関してはそういう低木で結構だと思うが、低木類の中にもガマズミはじめカンボクと言いましたがその他にもたくさん魅力のある木があると思う。

先ほどカエデの話が出ましたけども、もみあげた地盤、要するにゴロゴロしたところに生えており、そのような所ほど健康に育つという事、それともうひとつは枝を切ってしまうとモミジが非常に良くなる。ですから放任、要するに放っばらかしていいような場所に植えていただければ尚更。カエデ類は、モミジ色、もみだすような色が出るという事。

それから、特に寺の町っていうか心に訴えるような木。樹木とすれば女の木。男の木、女の木がありますけど女性の木。しおる木。だからそういうような木を少し、飯山の場合は多少多めに入れていただければありがたいかなというように思う。

また、やはり色が鮮明に出るような樹種を選んでいただければありがたいと思う。

(株KRC)

後ほどリストアップし直してみる。ご教授ありがとうございました。

(委員長)

他の植栽に関しましてはいかがか。

(委員)

三ノ丸は広場に樹木が立っているというイメージでいいのか。それとも今までみたいに庭園というか、飯山のお寺、例えば称念寺さんとかお庭のようなものが造れば野点会ができる。この広場が一番奥なのでここまで到達する人はあまりいない。知ってる人しか行かないところなので何かの目標物がある、この奥にこういう庭園がありますよとか、そういうものがないとなかなか三ノ丸に来ないと思う。そこから何か展開して花フェスタのようなものが出来たりなど何か展開できる。西曲輪にも広場が出来るが、そこも漠然とした広場であり、広場が多すぎるという気がする。三ノ丸はどのような方向性が。

(株KRC)

今の案では基本的には二ノ丸のところ礎石の提示をする環境を考えると、例えば花火大会が見れるなどの話もありましたので、できるだけ開けた空間のイメージである。また、少し広いところに木があるようなイメージをこの絵では書いてある。

ただそれだけでは味気ないので園路の際だとかの植え方の考えが今の案。なお、当然ただ木だけというのも味気ないので木の下の部分に根締めめに低木類を入れるようなことを考えている。

また、西曲輪は遊具を入れるという方向でもあるので、広場的に使える場所として出来るだけ開放的し、周りで桜が見えるイメージ。二の丸と本丸のところは出来るだけ遺跡を見ていただいて、面影を知っていただくということになる。

(委員)

モミジ、カエデを植える場合は基本的には桜と違ってなるべくそばに植えた方が健康的に育つ。それともうひとつは根元は絶対にすっきりした感がよい。今、根締めっておっしゃいましたが何か入れると汚くなってしまう。

もうひとつは根元に何かそばにあると虫がきたり色々障害がでてくる。ただ根元も植木屋さんが言われるとおりすっきり。だからよく街路樹でも何でもそうやって植えてあるけどあれは非常にマイナス。ですから広場とすればもう完全に根元周りはきれいにさせておくというのは基本じゃないかと思う。

(委員長)

植栽に関して、他にご意見、ご要望等あるか。

(委員)

飯山だから低木類を植える場所にユキツバキだとか、タムシバだとか、それから、鍋倉あたり行くと綺麗なツツジが咲いている。そういうのを植えておくのもいいのではないかなと。春先は似合うと思う。

(委員)

いずれにしても、三ノ丸の庭園を考えたときには樹種、位置など管理も含めて考えると言う事でいいのでは。その道の長けている人に相談しながら、管理も考えながら設定していくということで。

(委員)

樹種の選考よりも基本的には土、一番の大元。その辺もお願いしたい。

(委員長)

三ノ丸に関しましては和風な植栽を中心として管理等も考える。植栽そのものに関して

は四季の彩りを感じられるようなものを考えていくということで。

(寺内指導主事)

やはりお城ですのでお城にあるべき樹種というのがいくつかあると思うので、それを少し加えていただければと思う。松は必ずあるとか、いろいろありますのでそのような風に進めていただければ。

(委員)

三ノ丸は桜井戸があり、その上なので、何を植えたにしてもそこに誘導できるような方策が必要である。

(委員長)

他にいかがか。けやきはどうか。

(委員)

石垣のところのけやきは、ど根性けやきで切ってはいけないという話もあった。

(委員)

ぜひ残してもらいたい。

(委員)

石垣を壊していると思うが。

(委員)

あのけやきは土壘を止めている。もう30年もすれば根が見事にあみだして止める。だから根見るだけでも楽しくなる。人工的なものよりも田舎の城でありたいというお声も以前にあった。

田舎の城でいけば、やはりけやき城である。切るのは簡単。現在まで雪などに耐えてきており絵になる。あと百年もしたら素晴らしくなる。

(委員長)

イチョウはどうか。

(委員)

イチョウはやっぱり氷河期を越えてきた木だからやっぱり一本くらいは残しておきたい。

それと銀杏も昔は皆が実を拾いに行ったという話もあった。

(委員長)

イチョウは残しておく方向で。

(副委員長)

また、桜が老朽化してきており、今後どこをどうやって計画的に後を継ぐ木を植えていくか、それから混み具合などを考えながら。計画的にやっていかななくてはいけない。

(委員)

前に三ノ丸のところを治療させてもらったが、あの古木はもう完全に回復した。ですからソメイヨシノの場合はそう上に向かないがそれが上へ向きだしたから、どんどん吸収した。再生能力はすごい。長い目で見ていただきたい。

(委員長)

植栽関係については、これでよろしいか。

続いて検討事項の4「資料館・管理機能の配置」に関してご意見等ございましたら。

16の51ページに資料館・管理事務所機能の配置の3つの案があるが、1案の今の『心幸食』のあるところに休憩所と管理所を設けるとというのが一番現実的だと思う。

(委員)

西曲輪については、広い広場がここにあるので機能を低下させては意味がない。位置と規模には注意が必要。無理に建物を造るのはいかがなものか。史跡を示すだけでもよい。

(委員長)

では、そこ(市民会館跡地)のところは建てないと。

(委員)

イベントのメイン会場になる。

(委員長)

そういう方向でよいか。それでは案内所と、休憩所、ミニ資料館的なものを、現在の施設を流用するというようなことでよいか。

また、それからあとサイン関係はいかがか。

(事務局)

サイン関係ですが現在市の観光課と私共の課の方で飯山の町の中のサイン計画を策定している。その中で城山公園への案内についても計画をする予定であるのでこの委員会では外の部分について、意見は意見としてお聞きするが、一応外の部分は違う計画の中で策定させていただきたいと思うので城山公園の中のサインということで限定して計画を考えて

いただければありがたい。

(委員)

仲町交番前の信号機のところに園名表示サインが出ているが、ここから上までだいぶあるのでこの一番下の地点に総合案内サインが出したほうがわかりやすいと思う。また、道路上の青地の看板に城山の誘導があれば分かりやすい。

(委員)

仲町交番前の信号機について、「城山入り口」とか「人形館」などの表示がありがたい。長電のバス停も「城山入り口」とある。

(事務局)

信号機の名称については、変えるのは比較的簡単。警察と相談してまあ看板の工事代だけで済むが、自動車のナビなどとずれが出てくる。

(委員)

出来るだけ現地にあったサイン表示を。しかもPRになったりする。ご配慮いただければ。

(委員長)

また、名称を統一したほうがいい。「城山公園」で市民はわかるが名前をきちんと統一したほうが他から来た人に対しては案内としてはいいような気がする。

(委員)

市の条例上の正式な名称はどうか。

(事務局)

「城山公園」である。

(株KRC)

現在のサインは16の53ページのところに左端の方に、13番で「飯山城址公園」と書いてある。また、左下それから右下のほうに、県の史跡の15番、22番、これは棒になっており、「飯山城址」。これは史跡の関係上そうになっている。

(委員長)

市内に関するサインは観光課との関連があるということなので、そのくらいにいたしまして、城内のサインを検討したい。飯山クラブのほうでやっていただいたものがポイントだと思う。

(委員)

飯山クラブの案内板はずっと将来にわたってやられるわけか。

(委員)

そのつもり。飯山クラブとすれば今のサインはとりあえず壊れてないから金かからない。冬に雪が降る前に片付けている。

(委員長)

このサインも今回の整備計画の中で位置づけていかないといけないかなと思う。

(委員)

ある程度統一したもので案内を出していくという必要がある。よそへ行ったときによそのそういうサインを見たときに、ある程度統一されたもののほうが見やすいと感じた。

(事務局)

看板のほうは、今あるものを調査させていただいて教育委員会や、観光サイドのストーリー作りも含めて総合看板をこの位置にこういったものをこの位置に、といったものを計画として事務局案で作らせていただいてそれを見ていただくというような形にさせていただきたいと思う。

・短期整備項目について(資料17)

(委員長)

わかりました。そういうことでお願いしたい。ここまでで検討事項1～4が議論されました。

続いて資料17について、短期主要整備候補と、中期整備候補ということで分けて記載している。その辺のところを検討していただきたい。

(委員)

短期、長期の整備項目については、それぞれのところがどのくらい所要がかかるか、その範囲で見れば、これよりもこのほうが先だとか、そういう検討していただいたほうが早い。概算費用でどのくらいとか。それが出せれば優先順位が見えてきて議論できる。

(委員長)

それではそのような方法でそれぞれの概算費用を出してから検討したいがよいか。

(委員)

話が少し違うが、三ノ丸、二ノ丸、本丸などにベンチを設置することを考慮しなくてよいか。

(副委員長)

遠望するときはやはり腰掛けが必要。

(委員)

西曲輪などを含めて子供たちや、ベビーカーで連れて行って遊べるなど、そういうことを考えるとあった方が良くと思う。夏場配置しといて、冬市役所で片付けるとかね。その辺も含めて、やってもらいたい。

(委員長)

次回のところで概算を出し、整備候補の順位を決めたい。

## 5. その他

次回の委員会

月 日( )

(建設水道部長)

ありがとうございました。

それではその他ということで次回の委員会ですが、1月17日(火)13時30分からを予定したい。

また、委員さんの中で堀内委員、奥野委員さんが区長さんという立場で今出てきていただいている。区長は12月で終わりということになるが、委員会もここまできておりますので引き続き委員ということでお願いしたいと思っているが、皆様よろしいでしょうか。

一同賛成。

(建設水道部長)

お二人には引き続き、よろしくお願いいたします。

## 6. 閉会